

平成23年度科学・技術関係予算についての  
第一線の若手研究者からの意見募集結果  
(24009：特別奨励研究員事業)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	4件
改善・見直しをした上で推進すべき	9件
推進すべきではない	7件
その他	1件
合計	21件

【主なご意見】

若手研究者の育成につながる重要な施策である。

若手研究者に自立と活躍の機会を与える環境の整備は、我が国の将来を考えるにあたって非常に重要であると思われるが、本事業は特別研究員制度と重複するため、統合すべきである。採択予定人数の設定根拠が不明であるとともに、やや少なすぎる印象がある。また、受け入れ研究機関における体制整備等に係る経費が計上されていないが、不可欠な経費ではないか。テニユアトラック制度などと連動して、若手研究者が長期的に安定して研究に取り組める環境を整備する一環としての制度設計が検討されるべきではないか。

不要。既にあるPD、SPD、海外特別研究員の事業で対応可能である。

目的の是非はともかく、その他事務経費が総額の約4割を占める事業。率直に申し上げると、その時点で優先的に行わなければならない政策との理解を得ることは難しいかと感じます。